

令和2年10月28日

日本歯科医師会会員各位

公益社団法人

日本小児歯科学会 理事長 牧 憲司

小児保健委員会委員長 浜野美幸

飛沫感染防止ポスター「口は閉じて食べましょう！」のご案内

新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの生活は、新しい生活様式を余儀なくされています。飛沫感染防止のためにマスクの着用は新しい常識となりましたが、食事の際にはマスクを外すため、給食などの場面での飛沫感染が心配されています。今、子どもたちの学校給食を覗いてみますと、対面を避けるために全員が一方向を向いているか、なかには壁に向かって食事をしている学校もあります。本来ならば子どもたちにとって一番楽しい時間であるはずの給食が、苦痛となっている子どももいると聞いています。

実は、最近の子どもたちの「食べ方」には、飛沫感染を拡大させてしまう要因があります。具体的には、「口を開いて咀嚼している」という現状です。保護者は「食べる時にクチャクチャと音を立てている」という認識はあるものの、それが口を開けて咀嚼していることに原因があるとは気づいていません。

そこで、日本小児歯科学会では「口は閉じて食べましょう！」という啓発を「飛沫感染防止に効果的」という新型コロナ感染症拡大防止策という現在のニーズに合わせて行うことを考え、ポスターを作成しました。イラストを魚戸おさむさんにお願ひし、また同時に、一般の方にはあまり周知されていない「正しい食べかた」についての情報提供もできるように「食事の時間をおいしく、楽しむために」も作成いたしました。ポスターは日本小児歯科学会のHP <http://www.jspd.or.jp/>からダウンロードできます。改変なさらなければ掲載はご自由ですので、是非ご活用いただきたくお願ひ致します。

対面で食事をとることは、話をしなくても友達の顔を見ることで心の安らぎを感じたり、顔の表情から友達の気持ちを読み取ろうと努力してみたり、場合によっては手話やジェスチャーを用いた新しいコミュニケーションを習得する機会になるかもしれません。少なくとも一人で食べるよりははるかに楽しい給食の時間になるのではないかとお願ひしています。

少しずつ緩和されていくであろう給食において、「正しい食べ方」を改めて考えることが飛沫感染を予防するうえで重要であることを広く国民にお伝えしたいお願ひです。さらなる理解のため、機会がございましたら、先生方からポスターについての解説をしていただきたくお願ひ申し上げます。

<連絡先> (一財) 口腔保健協会 学会部 公益社団法人 日本小児歯科学会

TEL 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341

E-mail : gakkai3@kokuhoken.or.jp